

第5回調布市立染地小学校施設整備検討委員会 概要

1 日時

令和7年2月12日（水）18時30分から19時30分まで

2 場所

教育会館301, 302研修室

3 出席者

(1) 委員

阿部委員長, 河本副委員長, 八木橋委員, 米山委員, 星委員, 山澤委員,
久保田委員, 矢筈原委員, 市川委員, 眞野委員, 伊藤委員, 菊地委員,
東海林委員, 小林委員, 佐藤委員

(2) 事務局

ア 教育委員会

関口施設担当課長, 森木副主幹, 榎本係長, 菊地主任, 逸見主任

イ 企画経営課

後藤係長

ウ 株式会社大誠建築設計事務所

小林氏, 大形氏

4 進行

(1) 前回の検討委員会の振り返り

(2) 調布市立染地小学校施設整備基本構想（案）

5 質疑応答

(1) 道路名等の表記について、全ページで統一したほうがいいのか。

【東海林委員・矢筈原委員】

→修正する。（事務局）

(2) 「多摩川住宅再生後」という文言について、誤解のない表現に改めたほうがいいのか。【東海林委員】

→修正する（事務局）

(3) 令和11年以降の児童数の推移の見通しがあるようであれば教えて欲しい。

【菊地委員】

→見通すことは難しいため、住民基本台帳等を定期的を確認しながら予測をしていきたい。（事務局）

(4) 児童数の推移と現在の空き教室を考えると、建替えの前に教室が足りなくなるのではと考えている。【八木橋委員】

→児童数を見極めながら、必要な措置を別途対応としたい。（事務局）

(5) 3ページの通学区域の図等において、表記がわかりにくく、対象地区等において混乱

を生じさせかねないと思う。【山澤委員】

→表記の仕方について工夫する。(事務局)

- (6) 15ページ整備方針の各見出の右にある「学び」などについて、14ページ図中の言葉の色と同一色にする等の工夫でもっとよくなるのではないか。【東海林委員】

→修正する。(事務局)

- (7) 学校に関わる人達が子ども達の成長を感じ取れる学校施設とはどんなものか。具体的なイメージがあれば教えて欲しい。【久保田委員】

→文部科学省の掲げる「地域と進める学校づくり」からイメージしたものであり、具体的な内容は決まっていないが、コミュニティスクール等の地域と関わる教育現場を創ることを鑑みた表現とした。(事務局)

- (8) 防災備蓄倉庫が3階なのは、水害等を考えると理解できるが、体育館が3階であることは開放時等の防犯や安全対策が気になる。また、A案においてステップルームが4階であることは、必要とする子どもにとってハードルが高くないか心配である。

【議題3(久保田委員)】

→防災備蓄倉庫の搬出入や体育館のセキュリティについては、エレベーターを利用することで解消できると考える。また、ステップルームについても同様だが、配置については検討を続けたい。(事務局)

- (9) 18ページの配置計画案のところに、19ページと同様に「現時点での計画案」という注意書きがある方がいいのではないか。【河本副委員長】

→加筆する。(事務局)